

## ソンチーノ

先週、乗り逃してしまったバスに乗って、サンドナート駅から1時間40分にあるソンチーノという小さな街に行ってきました。今回は、サンドナート駅構内のバス乗り場に、出発15分前なのにバスが停まっています、その上バスには7,8人の乗客が既に乗っていましたので、安心して席に着きました。天気予報は晴だったのに残念ながらどんよりとした曇り空。バスに乗っているうちに晴れることを祈っていたのですが、霧は晴れたものの、やはりはっきりしないお天気。時々薄日は差すものの、やはりどんよりしていました。それでも、雨よりはましと思い、ソンチーノの街を歩き回ってきました。

ソンチーノは「最も美しい村」と「小さな街・村」の本の両方に乗っているクレモナ県にある人口7600人の小さな街です。ポー川の支流であるオーリオ川の近くにあり、クレモナ、ベルガモ、ブレージャの境界線近くに位置します。ソンチーノの名前は、1440年の地図には、既に、オーリオ川傍のロンバルディ平野にある城壁と砦に守られた街として描かれていました。この地域にある街は、フン族の侵略(9-10世紀)時に要塞化されていて、ソンチーノもその時分に最初に要塞化されたと考えられています。ソンチーノは1118年に独立都市となりましたが、13世紀からはミラノのヴィスコンティ・スフォルツァ家の統治下での自由都市だったようです。その時代に城壁はレンガで建て直され、ヴィスコンティ・スフォルツァ家の統治下、オーリオ川を挟んで抗争を続けていたヴェネツィア共和国との防衛拠点となっていたようです。15-16世紀にもこの街はスフォルツァ家の防衛拠点として、砦が建てられ、城壁も全面的に修復されて現在に至っています。従って、今でも街(旧市街)はほぼ完全に城壁に囲まれていて、ソンチーノの街には4つある門のどれかを通らないと入ることが出来ません。この城壁のおかげで、古い街並みが保存されたのかもしれませんが。また、街全体が丘の上にありますので、街が城壁の上に乗っているような感じです。城壁には地下通路もあるようですが、入口は危険なので閉ざされていました。観光スポットとしての管理はされていないのです。

現在のソンチーノの街は城壁の外まで拡張されていますので、城壁内が旧市街となります。バスの停留所は、城壁(旧市街)の直ぐ外にあります(バスは旧市街には入りません)ので、そこから歩いて城壁の門(サン・ロッカ門)を通過して旧市街に入ります。



街に入ると、直ぐ右側に、ロッカ・スフォルツェスカが見えます。ロッカですので砦なのですが、お城と言っても良いくらいの大きさです。最初、この砦は15世紀にスフォルツァ家の防衛拠点として建てられたのですが、その後、ソンチーノの領主のスタンパ家の居城となりました。砦から城壁の外

にあるサンタ・マリア・デッレ・グラッツェ教会（15世紀）までは地下道が通じているそうです。確かに、地下道らしき通路があるのがわかりました。砦の周りは公園になっていて、砦の周りを巡るだけでなく砦のすぐそばまで行く事が出来ます。従って、砦がかなり複雑な構造であることは、外側から見ても良くわかります。入場料は4.5ユーロと書いてありましたので砦の中の見学も出来ますが、昼休み時間でもあり中には入りませんでした。外側からだけでもなかなか見ごたえのある砦です。



街中には12世紀から15世紀の教会や宮殿がいくつかあります。その中でも、興味深かったのは、製粉工場の跡です。街の中の道路脇に古い水車があり、まだ水も流れていて今でも使えそうです。ポッピオに行ったときにも街の中で水車を見ましたが、近くに流れている川の水を街中に引き入れて水車を回していたのでしょね。パスタはもともとこういうところで作られていたのでしょう。



小さな街ですが、街中に教会と宮殿がいくつかあります。その中でも、サンタ・マリア・アッスンタ教会は、大きくて立派です。こんな小さな街なのにどうしてこんな立派な教会があるのかと感じます。この教会は、6,7世紀に建てられたもので、度々の改修によりこんなに豪華で大きくなってしまったようです。街の中心の広場にはコムーレ宮殿と12世紀に建てられた市民の塔があります。



街の周りは城壁で囲まれています。城壁に沿って歩いたのですが、一部は城壁沿いに道がありませんでした。それでも、10分もかからないくらいで街を1周出来ますので本当に小さな街です。人口7600人とありますが、今では、城壁外まで広がった街全体の人口ですから、城壁内の旧市街にはその半分よりもずっと少ない人数しか住んでいないと思います。でも、こんな小さな街にもちゃんと歴史があり、それを誇りとして歴史的建造物をちゃんと保存しているのが、やはりイタリアです。





サンドナートの駅構内のバス乗り場から、アッダ・トランスポーティの Linea 34 バスに乗ります。クレマまでは本数が多いのですが、ソンチーノはクレマの先なので、本数が少なくなります。土曜日でも 4,5 本しかありません。従って、行きと帰りのバスは、ちゃんと調べておかないと帰れなくなってしまいます。所要時間は 1 時間 40 分で料金は片道 4.15 ユーロ (G 区域) です。バスは路線バスですが長距離バスなのできれいで快適です。周りの景色も興味をそそりますし、各停留所で乗降する客が結構ありますので、運転手さんに降りる停留所を知らせてもらうまでもなく、現在位置を確認しながら安心して乗っていられました。ソンチーノでも 3 人が降りています。ソンチーノにはツアリスト・インフォメーションがありませんでした。それほど、観光には力を入れていないようです。従って、街の地図も入手できませんでしたが、旧市街は小さいので観光スポットを見逃すようなことはありません。気がつくとも一度歩いた道をまた歩いているような感じです。

バスから外を見ていると、このバス路線には他にも訪ねてみたい街がいくつかありました。途中にはクレマという少し大きな街がありますが、この街も城壁に囲まれていて、城壁の内外に観光スポットがあるようです。ここにはツアリスト・インフォメーションもちゃんとあります。クレマの少し手前にあるパンディーノという小さな街も、近くのグラッデラと一緒に「最も美しい村」に載っています。バスからは見えませんがこの街にはお城があるそうです。パンディーノの一つ先のパラッツォ・ピニャーノには 5 世紀に建てられた教会と古い街並みがありました。バスから良く見えたので、途中でバスを降りて歩きたくなるような気持ちになりました。(実は、この次の日にパンディーノとパラッツォ・ピニャーノを訪ねていますので、そちらの報告を参照してください)

グーグル・アースを見ると、ソンチーノの隣のオーリオ川を越えたところにある街(オルツィヌオーヴィ)にも砦があるようです。当時はミラノの敵であったヴェネツィア共和国側の砦なのでしょう。バスの終点はヴェローラスオーヴァという街で、ここも「小さな街・村」の本に載っていますので、きれいな街だと思います。近い将来にもう一度このバスに乗りたいと考えています。

サンドナートからのバス旅行も捨てたものではありません。晴れていたらもっと良いのですが、ロンバルディ平野を進み、途中の小さな街を訪ねながらのバス旅行は、車窓の景色を見ることに忙しく、本を読むことも寝ている暇もありませんでした。